新署名「核兵器全面禁止のアピール」への

海外からの賛同者・メッセージ

2011年2月15日日本原水協事務局

日本原水協が提唱した「核兵器全面禁止のアピール」に対して、2011 年 2 月 15 日現在で、 国連と 31 カ国、117 各国団体、12 地域・国際団体/ネットワークから合計 169 名から賛同とメ ッセージが寄せられました。以下、翻訳して報告します。

国連

潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長

核兵器禁止条約の交渉開始を求める新たなキャンペーンを開始するために広島、長崎、東京 にお集まりのすべてのみなさんにあいさつを送ることができることを嬉しく思います。

私は、みなさんのご努力を全面的に支持いたします。多国間の軍縮交渉の歴史は、市民が政府の行動を要求して声を上げることの重要性を示しています。

みなさんのキャンペーンは、ロシア連邦・米国間の新戦略核兵器削減条約(新 START)の発効、2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議の成功裏の結論など、最近の一連の重要な発展があるなかでとりわけ、時宜を得たものとなっています。私たちはこの勢いを全力をあげて推し進めなければなりません。

昨年8月、私は広島の被爆65年平和記念式典に出席しました。その訪問は、私の人生でもっとも感動的で忘れることのできない経験となりました。広島と長崎でお会いした多くの被爆者の勇気と不屈の精神を前に謙虚な気持ちとなり、励まされもしました。被爆者の体験を聞き、私は、核兵器のない世界を実現するために持てるすべての力を発揮すべきとの確信を強めました。

2008 年 10 月、私は 5 項目の核軍縮提案を発表し、核兵器禁止条約の提案を支持することを含め、核兵器廃絶の実際的な道筋を提示しました。ノーベル平和賞受賞者が最近、広島でのサミットでこの提案への強い支持を表明したと聞き、励まされています。

私は、人々がいたるところでみなさんのよびかけに署名し、そうすることによって高まる交渉開始を!の合唱に、自らの声を合わせていくことを願っています。やがて私たちは世界から核兵器を一掃します。そして、私たちがそれを成し遂げるとき、それはみなさんのような人々のおかげなのです。みなさんのキャンペーンが大きな成功を収めることを切望するものです。

セルジオ・ドゥアルテ軍縮問題担当上級代表

原水爆禁止日本協議会は地球的な核軍縮を前進させるイニシアチブの、長期にわたる卓越した記録を持っています。

これらのイニシアチブは、人々の確固とした意思こそがこの偉大な目標の達成にとって考え うる限りのもっとも強力な基礎をつくりだすとの理解にもとづいています。

したがって私は、核兵器禁止条約の交渉開始を求めるあなた方の新署名キャンペーンを推奨 するこのメッセージをお送りすることを喜びとし、名誉とするものです。

あなた方の署名は二つの大変重要な目的に適うものです。第一に、それは世論全般、つまり一人ひとりの市民に、これまで発明された最も危険な兵器を廃絶するために世界で進められているより広範なプロセスに個人として参加する機会を与えることになります。第二に、それは、最も必要とされているところ、すなわち潘基文国連事務総長が提唱する、軍縮に「法の支配」をもたらすことの必要性に焦点を当てることになります。

核軍縮のように重要な問題が、核兵器禁止条約なり同様の結果をもたらす相互に強めあう個

別的な諸協定なりの、拘束力ある法的約定なしに達成されるなどということは思いもよらない ことです。

世界は、そのような条約にどのような種類の約定や規制が含まれなければならないのか、きわめて真剣に考えはじめなければなりません。そうした仕事は時期尚早ではありません。まったく反対です。それはずっと以前からの懸案であったのです。

この署名運動は、個々の国と国境を越えたネットワークの両方を含め、世界中の市民社会グループからイニシアチブをほとばしらせることに貢献するでしょう。葛飾北斎の描く「怒涛」のエネルギーを持つこれらのイニシアチブは、軍縮を支持する津波のような人々の支持をつくりだす力を秘めています。

指導者たちは、いかに人々の意思が文字通り歴史を変えうるものかを、最近、いたるところで目の当たりにしています。核兵器のない世界は、これからの世代に手渡すことのできる、考えうる最善の贈り物となるでしょう。この目標を達成する責任を手渡すだけでは十分ではありません。それは私たちがいまこの瞬間に最善を尽くして努力すべき事業です。

どうか、運動の成功を願う私の心からの気持ちをお受け取りください。

ノーベル平和賞受賞者

ジョディ・ウィリアムズ/ノーベル女性イニシアチブ議長

新しい署名キャンペーン「核兵器全面禁止のアピール」に全面的に賛同します。

核兵器のない世界を実現するために「いま、それを実行に移すときです」という、アピールの声明文に賛成です。核戦争を心配するのは、もはや過去のことなのです。世界中の人々は、 核兵器を禁止するため、今こそ共同し行動を起こさねばなりません。

マイレッド・マグアイア/ノーベル女性イニシアチブ

アジア・太平洋

ニュージーランド

アオテアロア・ニュージーランド平和評議会

ジェラルド・オブライエン名誉議長

アオテアロア・ニュージーランド平和評議会は、1985年に「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」を提唱した最初の14団体のひとつであり、国内で60万筆を越える個人・団体署名を集めました。今回ふたたび、日本と世界の平和運動と共に、原水協が開始する「核兵器全面禁止の署名」への賛同と参加を求められ光栄に思います。

私たちは、この新たな署名キャンペーンに大変勇気づけられています。世界中の政府が人類の願いに従い、約束した核兵器完全廃絶を実現するよう、全面的支援を約束します。

今こそ、「廃絶にむけた動き」に見せかけた欺瞞と活動を使って義務の履行が先延ばしにされていることを認識し、拒否しなければなりません。人類にとって確かなことがひとつあります一核兵器を今廃絶しなければ、地球上の生命にとって未来はないということ、そして一刻も早い行動が求められる段階にまできているということです。

バーニー・リチャーズ全国議長

世界が核兵器の偶然あるいは意図的使用により深刻な脅威に直面していることは疑いの余地がありません。米ロ間の核弾頭削減協定が結ばれても安全と感じることはできません。国民の願いに反してアメリカの核兵器を貯蔵させられているヨーロッパの数カ国の人々にとっても、それは同じだと思います。

核兵器廃絶の世界的な努力を真剣に受けとめてこなかった各国政府を動かすために、世界で最も進歩的反核運動である日本原水協が提唱した、この新たな署名運動に称賛を送ります。私

たちも役割を果たしたいと思います。

平和基金軍縮安全保障センター

ケイト・デュース共同理事長

ロバート・グリーン共同理事長 (英国海軍退役司令官)

アオテアロア平和法律家協会/アラン・ウェア理事長

オーストラリア

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)—オーストラリア

ティム・ライト (担当理事)

広島と長崎の恐怖を決して繰り返さないようにするために、このようなイニシアチブは極めて重要です。少しずつ、世界各地で個人と諸団体が核兵器に反対し、その廃絶を求める押し止めることができない世論のうねりを作り上げつつあります。このアピールが提案している核兵器(禁止)条約締結は必要であり、達成可能であり、ますます緊急な課題です。私たち一人一人が、遠い将来ではなく今すぐにそれを実現するために果たすべき役割を持っています。オーストラリアの軍縮活動家たちは日本その他の国々の友人たちと連帯し、この条約を国際社会の次の大きな交渉目標にするため活動します。一刻の猶予もありません。

オーストラリア平和委員会

ドン・ジャレット(南オーストラリア支部会長)

オーストラリア平和委員会は、この核兵器の完全廃絶アピール署名を支持します。私たちは、 団結した核兵器廃絶のための国際的行動が、紛争解決を口実とした核兵器使用を最も効果的に 抑止するものだと信じています。また、強固な国際平和運動は、強国が同盟関係を利用し国際 問題において自国の意向を押し通そうとするのを阻止すると考えます。私たちはまた、新たな 冷戦の危険がすぐそこにあることを懸念しています。

核軍縮を求める人々の会/一触即発核の危機プロジェクト/ジョン・ハラム

フィリップ・ホワイト(個人)

アピールに賛同します。具体的で時宜にかなった、そして政治的に焦点となっている要求が 含まれていることを嬉しく思います。

マーシャル諸島

アバッカ・アンジャイン・マディソン/前上院議員、ロンゲラップ島民代表

私は、1954年3月1日に行われたブラボー水爆実験の直接の被害者であるロンゲラップ環礁を代表し、あらゆる種類の核兵器の全面禁止の署名キャンペーンに賛同します。

グアム

グアム平和正義連合

リサリンダ・ナティビダド会長

グアム平和正義連合は、今日の世界における核兵器の使用に断固として反対の立場を取っています。私たちは、原水協とともに平和と核兵器のない世界を呼びかけます。核兵器による破壊的な被害は、世界の緊張を緩和するには原始的なやりかたであり、もっと進化した紛争解決の方法が必要であることを示しています。私たちは、この立場を堅く守り、未来の世代のためこの地球を守るためにたたかいます。

パラオ共和国

UAK(地域保健支援グループ)/ベラウ・ケアズ

ベルハイム・サクマ議長

パラオ共和国の UAK とベラウ・ケアズの会員は、原水協の各国政府に対する核爆弾の製造、 貯蔵、使用の即時停止の呼びかけを全面的に支持します。

非核のパラオ共和国の市民は、世界の非核運動の友人とともにあります。

フィリピン

<u>非核フィリピン連合</u>/コラソン・ファブロス事務局長

モロ青年専門家ネットワーク/バイボン・サンジド前議長

私たちは、核爆弾と全ての大量破壊兵器の拡散をなくす呼びかけを支持します。

ローランド・G・シンブラン/フィリピン大学、開発研究・公共管理教授

核兵器の全面禁止を求めるこのアピールを、全面的に支持します。

マレーシア

マレーシア社会的責任のための医師の会/ロナルド・マッコイ会長

核兵器が人類を絶滅させてしまう前に、核兵器 (禁止)条約あるいは同様の核軍縮協定の枠組みを通じて核兵器を廃絶するために、この世界的なキャンペーンに参加しましょう。

ベトナム

ベトナム平和委員会/グエン・バン・フイン (副会長/ベトナム平和開発基金役員)

核兵器全面禁止の新しい署名キャンペーンを支持します。

韓国

平和づくり

キム・スングク(金承国)会長

平和ネットワーク

チョン・ウクシク代表

キム・マリア (コーディネーター)

不可能だという人々もいますが、私たちは信念を強く持つべきです。あきらめない限り、核 兵器禁止条約は実現するでしょう。

イ・ジェヨン(コーディネーター)幹事

キム・イクファン (インターン)

参与連帯

イ・テホ (事務局次長)

イ・ナムジュ(平和軍縮センター所長)

パク・チュンウン (同主任)

韓国原爆被害者協会

キム・ヨンギル(金龍吉)会長

核兵器のない世界のための皆様の努力に敬意を表すると共に、私ども韓国原爆被害者協会と しても"核兵器全面禁止のアピール"に積極的に賛同いたします。何卒、この活動が実を結ぶ ことを心より祈念いたします。

中国

中国人民平和軍縮協会/ニュウ・チアン(牛強)事務局長

北京からのあいさつを送ります。皆さんお元気のことと思います。「アピール」への賛同を送り、これまでよりもっと幅広く支持が広がることを願っています。

インド

<u>ジャルカンド・オルタナティブ開発フォーラム</u>

プレム・プラカシュ・ヴェルマ議長

核兵器廃絶をめざすこの署名運動を心から支持します。

核軍縮平和連合(CNDP)

アチン・バナイク代表

スクラ・セン (全国調整委員会メンバー)

M. V. ラマナ(全国調整委員会メンバー)

核軍縮平和連合 (CNDP) は、世界的な完全核軍縮のプロセスを即時に開始することを全面的に支持します。2010 年 12 月に 10 周年を迎えた CNDP は、この目的への尽力と、南アジア非核兵器地帯を含め、この方向に進むすべてのステップを支持することを再確認しました。宇宙の核化・軍事化の構想が私たちを脅かしている今こそ、そのような狂気を止めるよう呼びかけることが必要です。既存の核兵器国は、現在の混乱に主な責任があり、彼らに地域的、世界的な核軍縮のプロセスを開始するよう圧力をかけなければなりません。私たちは、この共同の努力に、すべての革新的な組織と正しい考えを持つ人々とともに参加します。

核兵器のない世界のために。自由、正義と平等が十分に保証される世界のために。

全国人民運動連盟(NAPM)/ガブリエル・ディートリッヒ全国議長

インド平和軍縮環境保護研究所/

ノーモア・ヒロシマ・ノーモア・ナガサキ平和ミュージアム

バルクリシュナ・クルベイ所長

核兵器は、非人道的な兵器であり、人類だけでなく植物や動物の存続のためにも永久に禁止 されなければなりません。

<u>ウラン採鉱反対連合(JVV)-アーンドラ・プラデーシュ州ハイデラバード支部</u> チャンナ・バサバイア・マダパティ、執行委員会メンバー(オスマニア大学・政治学教授)

核兵器は、非道徳的であり、絶え間なく覇権主義的政治をもたらす要因です。国際関係に民主的秩序をもたらすひとつの方法が、核兵器の廃絶です。2010年5月のNPTで、核兵器国を含む全締約国が、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことに合意しました。今こそ、全ての国がこの合意を尊重し、この非道徳的な核兵器の廃絶に着手するときです。

H・R・プラカーシュ(個人)

核兵器と原発の完全禁止を目指すみなさんのキャンペーンに賛同します。核技術は人類とすべての生物にとって有害であり、その利用を避けなければなりません。

COVA/マズヘール・フサイン執行理事

賛同します。

全インド人民連帯機構(AIPSO)マハラシュトラ州委員会/ナラヤナ・ラオ事務局長

私たちは、平和を愛する市民であり、核の悪夢であるホロコーストから人類を救うことを望んでいます。私たちは、核兵器を持ち人類を脅かしている一握りの政府指導者の良心に、彼らが核兵器完全廃絶のための交渉に直ちに踏み出すよう求める人類の声を聞くよう訴えます。

インドキリスト者平和会議/ジョン・イッティ事務局長

核兵器の製造と貯蔵は、人びとの生命、財産、そして生態系にたいする知覚的脅威です。また、世界中の何百万という人びとの、生命維持に必要な資金の転用をもたらします。部分的廃絶や NPT は、これらの問題を避けるためには、全く不十分です。核兵器全面禁止が、唯一の持続的な解決法なのです。ゆえに、世界中の平和を愛する人びとは、核兵器全面禁止のための行動を政府に求める義務があります。原水協が始める核兵器全面禁止のキャンペーンの成功をお祈りしています。

スリランカ

ウィラマントリ平和教育研究国際センター/クリストファー・ウィラマントリ(判事)

喜んで、このアピールに賛同いたします。人類が直面している主要な問題のひとつは、人類 そのものの未来を脅かすこの脅威をなくすことです。

パキスタン

パキスタン平和連合/アブドゥル・H・ナイヤール会長

<u>バルチスタンの証言 (チャガイ核実験場被害者)</u> ファイザル・バロチ (プログラム・コーディネーター)

アフガニスタン

アフガニスタン社会主義協会(ASA)/ザファール事務局長

あなた方のイニシアチブ、たたかい、そして(核兵器の全面廃絶を求める)新しい署名キャンペーンを支持します。

ヨーロッパ

ロシア

<u>チェリャビンスク核安全運動</u>/ナタリア・ミロノワ会長

チェリャビンスク核被害者支援団体「プラバサズナーニエ」

アレクセイ・アドシェフ(法律家)

アレクレイ・バービン (法律家)

あなた方の新しいキャンペーン「核兵器全面禁止へのアピール」を、心から支持します。

アイスランド

反軍事基地キャンペーン-アイスランド

ビグファス・ゲイルダル (歴史家、教師、翻訳家)

広島と長崎市民に対して犯された罪が、二度と繰り返されないよう願いましょう。

フィンランド

ノーモア原発運動/アンナ=リサ・マッツォフ (連絡責任者)

核兵器は世界全体にとっての脅威です。信頼と平和が広がるために、核兵器は禁止されなければなりません。

平和を求める女性の会/ラウノカリ・レア代表

核兵器のない世界の平和と安全のために。

原発反対女性の会/クロエツァー・ウラ代表

核兵器のない世界の平和と安全のために。

ノルウェー

核兵器ノー/ウーレ・コプレイタン事務局長

素晴らしいイニシアチブに感謝します。大歓迎です。核戦争ノーの新聞の新年号を発行するところなので、この署名を一面のニュースとして取り上げるつもりです。

<u>ノルウェー平和同盟/国際平和ビューロー(IPB)</u>

フレデリック・S・ヘファメール(法律家、作家)

ドイツ

<u>ドイツ反核国際法律家協会/技術者・科学者国際ネットワーク(INES)</u> ライナー・ブラウン執行理事

<u>ドイツ・ヨーロッパ平和のための女性の会</u>/イバ・クイストロープ創立者(欧州議会議員、欧州緑の党グループ・欧州自由連盟・創立者)

1984年に広島の世界大会に招待されました。あなた方のおもてなしを今でも覚えており、感謝しています。私は過去30年間の中で、ドイツ緑の党から欧州議会議員となり、ヨーロッパの核兵器・原発反対運動のリーダーにもなりました。

あなた方のキャンペーンに是非賛同させてください。そして、日本の活動について引き続きお 知らせください。

オランダ

平和的なエネルギー利用に賛成/アク・マルテン理事長

教会間平和協議会パックス・クリスティ/スージー・スナイダー (プログラム担当者)

ベルギー

生態系リンクフォーラム(LEF)/ミシェル・ヴァンホーン(コーディネーター)

ギリシャ

平和と軍縮のための元 NATO 将軍の会/コスタス・コンスタンティニディス退役将軍(会員/ ギリシャ文学協会会員)

私は、世界から核兵器を廃絶することを強く呼びかけます。この目的を達成しようと市民が 行動を起こし、いくつかの政府が奮闘しているにも関わらず、国際社会はその実現に至ってい ません。軍事的観点から見て、核兵器は兵器ではありません。その使用は、地球すべてに終焉 をもたらすからです。

故に、第二の広島・長崎をつくりださない最も確実な保証は、核兵器の全面禁止と廃絶です。 そして、それはこの惨禍が繰り返される前に実現されるべきです。このことが今ほど求められ ている時はありません。あらゆる所で人々は求めています。ノーモア核兵器、ノーモア・ヒロ シマ、ノーモア・ナガサキ。私たちは、友情、平和、協力、そして国際法の尊重を求めます。

スペイン

平和基金/ジョルディ・アルマダンス理事長

フランス

フランス平和運動/アリエル・ドゥニ共同議長

核兵器を廃絶しましょう。幾つかの国にとっては小さな努力ですが、人類にとっては偉大な 一歩です!

<u>核軍縮市民行動</u>/ジャン=マリ・マターニュ会長

フランスは、包括的・普遍的・検証可能な核・生物・化学兵器の軍縮と真の国際安全保障体制をめざし、すべての国に対し自国の核攻撃戦力を破棄し、核兵器構成部品を解体することを 提案するべきです。

廃絶 2000 ヨーロッパ/核兵器ストップ

ドミニク・ララン議長

われわれ諸国民は核兵器を望まない。核保有国の政治指導者たちよ、この声に耳を傾け、無 条件に核兵器を解体して下さい。

<u>「核からの脱却」ネットワーク</u>/ジャン=イヴォン・ランドラック

イギリス

核軍縮キャンペーン(CND)/ケイト・ハドソン事務局長

喜んでこの新しい署名運動に賛同します。核軍縮キャンペーンは、原水協がこの新しい署名 運動で、核兵器の全面禁止の交渉をただちに開始するよう世界の指導者たちに要求するという 大胆なステップを踏み出したことに祝意を送ります。一刻も無駄にできません。私たちはみな さんとともに歩みます。

ウェスト・ミッドランズ核軍縮キャンペーン(CND)/エリック・ハーレイ共同議長

<u>戦争廃絶運動</u>/ブルース・ケント副会長

バートランド・ラッセル平和財団/トニー・シンプソン & ケン・フリート

ラッセル財団は、「核兵器全面禁止へのアピール」に喜んで賛同します。私どもの新しいジャーナル「ザ・スポークスマン」の新しい号とともに賛同用紙を回覧します。また、このアピールを私たちのホームページに載せるとともに、メーリングリストでも流す予定です。キャンペーンの成功をお祈りして、心からの挨拶をイギリスより送ります。

世界的責任のためのイギリス科学者の会/スチュアート・パーキンソン執行理事

草の根外交官/タリン・ラーマン創立者

核兵器は、破壊と政治権力への欲の象徴であり、人間のエゴを満たす以外のなにものでもありません。核兵器の出る幕はなく、そのような兵器が存在する限り、多くの国がたたかい守ってきた国際社会の平和と安定が脅かされるのです。草の根外交官は、人間の安全保障と人間愛を表わすことを呼びかけます。

MEDACT/マリオン・バーチ理事長

MEDACT は、核兵器のない世界のための重要で時宜を得たあなた方のアピールに、喜んで賛同します。核兵器の全面禁止と最終的な廃絶は、真の安全保障への唯一の道であり、核兵器条約は、この実現のための実際的で素晴らしい枠組みとなるでしょう。より安全な世界のためのあなた方の活動に感謝します。

世界法廷プロジェクトーイギリス/ジョージ・フェアブラザー書記

アンジー・ゼルター(平和・環境・人権活動家)

喜んで、新しい署名に賛同します。賛同者として名前を載せてください。

ヘーゼル・バークハム牧師

賛同します。平和をお祈りします。

ジェーン・リンドグレン(個人)

「核兵器全面禁止のアピール」を支持します。特に、故ジェームズ・カーカップ(英詩人)の思い出は、彼の思いを代弁することを託された私に、「ノー・モア・ヒロシマ」を思い起こさせます。成功をお祈りします。

アイルランド

平和中立連盟(PANA)/ロジャー・コール議長

中東・アフリカ

エジプト

モハメド・エゼルディン・アブデルーモネイム(アラブ連盟、軍縮・戦略問題特別顧問)

ケニア

社会責任のための医師の会/ポール・サオケ

タンザニア

<u>核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)-タンザニア</u>/ラファエル・チェゲニ共同議長(タンザニア国会議員)

南北アメリカ

カナダ

ダグラス・ローチ (前カナダ上院議員)

世界平和フォーラム/エレン・ウッズワース共同創立者(バンクーバー市議会議員) 世界の生存のためのカナダ医師の会(PGS)

マイケル・A・ドウォーキンド会長

この署名キャンペーンに参加し、カナダ国内でも国際的にも、核兵器廃絶を進めます。

バーバラ・ビルケット前会長

原水協のアピールに賛同します。

デイル・ディウォール執行理事

賛同を求めていただきありがとうございます。

会員にも賛同するよう求めていますが、まずあなた方の連絡先やファイルでの情報、従って 賛同用紙の形式などをいただきたいです。

広島デー連合/ヴィネイ・ジンダル議長

「核兵器全面禁止のアピール」の賛同者リストに私たちの団体も加えてください。トロントの平和・地域団体から成る連合体として、地球の全市民の安全のため、核兵器を廃絶するための努力として、このイニシアチブを支持します。

トロント怒るおばちゃんたちの会

フィリス・クレイトン(平和のための科学者の会理事)

手遅れになる前に、世界から核兵器をなくさなければなりません。緊急に禁止条約が必要です!

テオドーラ・キャロル(個人)、ブリティッシュ・コロンビア州

アメリカ

アメリカフレンズ奉仕委員会

シャン・クレティン事務局長

核兵器の存在は、それがどこであれ、私たちの安全を脅かすものであり、高めるものではありません。各国政府は、今こそ核兵器廃絶のために行動し、互いを尊重した国際関係、持続可能な開発、そして幸福の共有を基礎とした共通の安全保障の新しい規範に賛同しなければなりません。

アメリカフレンズ奉仕委員会ーニューイングランド事務所

ジョゼフ・ガーソン(軍縮コーディネーター)

世界初の核兵器に灼かれた日本の国民は、人類が核兵器と共存できないことを誰よりも知っています。それ以来、戦争で核爆弾が使用されることがなくても、数万発の核兵器は、ウラン

鉱山労働者とその家族から風下住民、原爆兵士に至るまで恐ろしい被害を人々にもたらしました。そして政府の資金がこの犯罪的で非人道的な兵器に浪費された結果、国民は必要な福祉政策を受けられなかったのです。

世界の核兵器が瞬時にジェノサイド、そして人類絶滅を引き起こせる即時警戒態勢に置かれており、(しかも多くの核保有国がそれらを「近代化」し)、東アジアなどで紛争が起こっている現在、2度目の核戦争を決して起こさないようにしなければなりません。

私たちの共同の努力により、NPT再検討会議は核兵器のない世界をつくるよう呼びかけ、重要な機会となりました。「核兵器全面禁止のアピール」は、世界が切実に必要としている核兵器廃絶条約の交渉を、世界各国に決意させるための草の根の圧力を構築する道を示してくれるでしょう。

アメリカフレンズ奉仕委員会は、みなさんとともにこのアピールの普及に努めます。力を合わせて勝利しましょう。深い感謝をこめて。

アメリカフレンズ奉仕委員会ーハワイ事務所

カイル・カジヒロ (プログラム責任者)

核兵器廃絶に向けてのリーダーシップに感謝します。

ピースアクション/ピースアクション教育基金

ケビン・マーティン執行理事

イニシアチブに感謝します。もちろんピースアクションは支持します。この運動開始の詳細について続けて連絡ください。署名と運動のニュースを出来る限り普及していきます。私たちはアフガン戦争終結の新たな署名運動を開始しようとしており、これが優先課題となりますが、皆さんの運動とできるだけ連帯して進めたいと考えています。

核時代平和財団

デービッド・クリーガー会長

「核兵器全面禁止のアピール」を強く支持します。この地球から核兵器を段階を踏み、検証可能で不可逆的、透明な方法で廃絶するための交渉はずっと以前に行われるべきものでした。被爆者は一貫して人類は核兵器と共存できないと警告してきました。私たちは大量殺戮の技術ではなく、人類とその未来を選ばなければなりません。核兵器廃絶は私たちが被爆者、私たち自身、そして将来の世代に負っている義務です。これは今日におけるもっとも重要な問題であり、この挑戦に成功するか失敗するかで、私たちは将来審判を受けることになるでしょう。

核時代平和財団ーニューヨーク支部/アリス・スレーター理事長

この署名は素晴らしいアイデアです。署名を促進し、廃絶 2000 の賛同を得るだけでなく、核時代平和財団のニューヨーク理事長の私個人としても賛同します。

<u>爆弾ではなく食料を</u>/キース・マクヘンリー共同創立者

私の母方の祖父ジョン・V・フェランは、広島・長崎への原爆投下機の飛行計画作成に関わっていました。祖父が日本への核攻撃に関与した話を聞いて、私は「爆弾ではなく食料を」を立ち上げたのです。私たちは核の脅威を終らせることができるし、今ほどそれが重要なときはありません。

<u>核軍縮をめざすプロポジション・ワン運動</u>/エレン・トーマス理事長

25 年間にわたって私たちは世界的核軍縮のためにたたかってきました(http://prop1.org)。 その結果、私たちは、世界で核兵器を廃絶するためには、核エネルギーに代わる実行可能な代替策を発展させることが必要だと考えるようになりました。というのは、原子力発電所がある限り、新たに兵器級のウランやプルトニウムが生産されることになるからです。この問題についてはやるべき活動が多くありますし、現在放射能まみれの原子力産業に費やされている資金

を、二酸化炭素を出さない非核のエネルギーに振り向けるべきです。

核の抵抗者/ジャック&フェリス・コーエン・ジョッパ(編集・発行者)

このアピールに賛同します。私たちはカンザスシティに建設されている新しい核兵器施設と、 ロス・アラモスで計画されている施設に反対して非暴力抵抗行動に立ち上がり、逮捕されまし た。

<u>コロンバス軍備管理キャンペーン</u>/マーク・D・スタンズベリー会長

みなさんの核廃絶署名運動に賛同します。平和を願って。

社会的責任のための医師の会(PSR) - 国際核戦争防止医師の会アメリカ支部 ピーター・ウィルク執行理事

あなた方の新しい呼びかけに賛同します。私たちの団体を賛同者に加えてください。

スティーブン・スター(科学者/ミズーリ大学臨床研究科学プログラム責任者)

核戦争は、たった一度核抑止が失敗しただけで起こり得るのです。存在する核兵器がもし紛争の中で爆発したら、地球全体の環境に破滅的な被害をもたらし、それは人類の生存を脅かすものとなるでしょう。核兵器が私たちを壊滅させる前に、核兵器を廃絶せねばなりません。

ニューヨーク市おばあちゃんたちの平和旅団

核兵器の全面禁止はますます緊急の課題となっています。世界の諸国民は、核兵器の廃絶が 地球の平和と究極の安全保障への真の道であることを理解しています。

<u>ニュークウォッチ</u>/ジョン・ラフォージ共同理事長

私たちは、原発と核兵器に反対して30年間もたたかってきました。署名で、一軒一軒訪問して人々と対話することだけが、結果を出すのです。

パックス・クリスティ USA/マニュエル・パディラ(プログラム担当者)

パックス・クリスティ USA はもちろん核兵器条約を目指すみなさんの署名運動に賛同します。 原水協のみなさんは元気ですか。

<u>パックス・クリスティーメトロニューヨーク</u>/ローズマリー・パーチェ支部長

世界中の諸国民は平和を望んでおり、平和のために必要なのは、核兵器をなくすことです。

パックス・クリスティー首都圏・ボルチモア/ロバート・S・モア議長

核兵器全面禁止のアピールに、心より賛同します。

パックス・クリスティーロングアイランド/シェイラ・クローク理事

<u>西部諸州法律基金</u>/ジャッキー・カバソ理事

コネチカット州マンスフィールド・センター/ミリアム・カーランド

<u>平和のための退役軍人の会 マサチューセッツ州ノースショア 45 支部</u>/サマンサ・スミス

<u>ケープアン地域・ノースショア平和正義連合</u>

平和の家/ジョン&キャリー・シューシャート共同理事長

アメリカ平和評議会/アルフレッド・L・マーダー会長

ワシントン平和センター/ソニア・シルバート理事長

戦争と平和/最後の爆弾/ケビン・サンダース(プロジェクト責任者)

ピースマジョリティ・レポート/ビル・シューラー編集長

コードピンク女性平和の会/メデア・ベンジャミン

ネハール·シャローム地域会堂/ビクター·H·レインステイン、ラビ(ユダヤ教聖職者)

<u>戦争は犯罪だ.org</u>/デビット・スワンソン創立者

できる限り支援します。

平和と民主主義キャンペーン (CPD) /トーマス・ハリソン共同理事長

<u>平和民主主義キャンペーン(CPD)―ニューヨーク</u>/ジョアン・ランディ

<u>平和正義資料センター</u>/トム・ハイデン理事長 グレイ・パンサーズ/ジュディ・リア

非暴力行動のためのグラウンド・ゼロセンター/

レオナルド・アイガー(メディア広報コーディネーター)

ワシントン州をはじめ、ここ太平洋岸北西部で、団体と個人からこのアピールへの支持を集めるために、できる限りのことをやります。

グラウンド・ゼロセンターは、核兵器全面禁止のアピールの最初の賛同者として署名できる ことを、喜ばしく、また誇りに思います。グラウンド・ゼロセンターを代表して、賛同いたし ます。

センジ・カナエダから賛同が送られてきたように、私たちの共通の努力を支持して活動をしている仏教修道院からの署名賛同もあります。

あなた方の賛同要請を地域・全国組織に送りました。2月15日の正式発表後は、個人の署名 を集め、「全面禁止」のキャンペーンを支援したいと思っています。

核兵器廃絶と人類の平和共存という共通の目的に向かって共に活動を続けることを誇りに思います。広島と長崎を二度と繰り返してはいけません!

<u>ベーンブリッジ島日本妙法寺、シアトル</u>

センジ・カナエダ僧侶、ジルベルト・Z・ペレス僧侶

あなた方といかなる活動も共にするために準備します。いかなる時も一緒に祈り、これから も連帯を継続していく所存です。合掌。

平和のための退役軍人の会、ゴールデンルール・プロジェクト

フレディ・シャンパーニュ (コーディネーター)

私たちは、核兵器使用禁止条約の実現に向けたあなた方の努力を心から支持します。また、 私たちは反核抗議船ゴールデンルールケッチの修復も行っています。

平和な明日をめざす 9.11 家族の会/アンドレア・ルブラン

喜んで賛同します。

ケンブリッジ平和委員会/ブライアン・コール事務局長

核兵器の脅威は、マサチューセッツ州のケンブリッジ市民にとって、いまだ最も重要な問題であり、すべての核兵器を廃絶し永久に禁止することは緊急課題です。

デビット・ヴァイン/アメリカン大学助教授

デイビット・ネルソン牧師

ノーム・チョムスキー/マサチューセッツ工科大学教授(退職)

<u>ウーマン・イン・ブラック(平和を求める抗議行動)ーメイン州オーガスタ</u>ロジャー・レイスネール(創立者/所有者、ラジオ・フリー・メイン)

<u>ウーマン・イン・ブラック(平和を求める抗議行動)ーシアトル、ワシントン</u>タイラ・シラコポウロス

ヒューマニスト党ニューヨーク支部/デイビット・アンダーソン(コーディネーター)

ヒューマニスト党は、高まる核衝突の可能性、新たな軍拡競争、そして軍隊による野蛮な外国領土の占領など、私たちが暮らしている地球の危機的状況に対する意識を高めることを目的としています。

ジョエル・フィッシャー/ハワイ大学・社会学教授(退職)

メモリープロダクション/デイビッド・ロートハウザー創立者

ワシントン西部宥和会(WWFOR)/エレン・フィンケルスタイン(組織担当)

核兵器廃絶に対するあなた方の活動に感謝します。「核兵器全面禁止のアピール」に私たちの名前も加えてください。

ジョージア平和正義連合アトランタ支部

私たちは、アメリカフレンズ奉仕委員会のジョゼフ・ガーソン氏からあなた方の新しいアピールである核兵器全面禁止への賛同呼びかけに応えて、ご連絡差し上げました。私たちは指導者ではありませんが、アメリカ・ジョージア州の草の根活動を代表し、賛同団体に名前を加えていただきたい次第です。私たちは、アメリカのより公正な外交政策を求め活動する地域・宗教・学生団体、個人から成る連合体です。

ピーター・クズニック/アメリカン大学・歴史学助教授、核問題研究所・所長

核兵器廃絶の課題は、66年間先送りされてきました。今がその時です。すべての国の国民が望んでいます。先延ばしに対するどんな言い訳も、もはや通じないのです。

ピースワーカ<u>ーズ</u>/デイビッド・ハーツオウグ執行理事

私たちが子どもたちと将来の世代に与えることのできる最高のプレゼントは、地球上から核 兵器を禁止・廃絶することです。

民主社会主義通信委員会(CCDS) / ジャネット・タッカー

民主社会主義通信委員会(CCDS)は、この核兵器全面禁止のアピールに賛同します。

アメリカ社会主義党/戦争抵抗者同盟

デイビッド・マクレイノルズ (国際戦争抵抗者同盟前議長)

核兵器全面禁止は、完全で普遍的な軍縮という歴史的に重要な目標に向けた不可欠なステッ

プです。これを進める原水協の努力を強く支持します。第二次世界大戦の終わりに、多くの人びとが持っていたこの夢に、新たな生命が吹き込まれ、実現されなければなりません。

ジョー・コマーフォード(個人)

賛同できることを誇りに思います。あなた方の長年の素晴らしい活動に感謝します。

デボラ・ネメック (個人)

いかなる場所であろうと、核兵器は全面禁止するべきだと思います。

メキシコ

ラテンアメリカ国際関係学サークル(LACIS)

ルイス・グティエレス=エスパルサ会長

平和も、民主主義も、人権の尊重も、核兵器禁止なしには達成不可能です。

地域・国際団体/ネットワーク

国際平和ビューロー

インゲボルグ・ブレイネス共同会長

トマス・マグヌスン共同会長

コリン・アーチャー事務局長

もちろん全面的な支持を送ります。

戦争と暴力なき世界

トニー・ロビンソン(英ベースチームメンバー)

「戦争なき世界」はもちろんこの運動を支持します。

ウラン兵器禁止を求める国際連合 (ICBUW) 運営委員会

ダグ・ウェイアー (コーディネーター)

ICBUWは、市民社会と国際社会による核兵器条約のすみやかな発展を促進し、すべての政府にその実現に向けた取り組みを呼びかける行動を、全面的に支持します。

世界平和評議会/ソコロ・ゴメス議長

世界平和評議会は、この重要で人道的な目標を支持します。

婦人国際平和自由連盟(WILPF)

レイ・アーチェソン(リーチング・クリティカル・ウィル責任者)

<u>アジア太平洋ジャーナル</u>/マーク・セルデン (コーディネーター)

今こそ、核兵器の削減、廃絶、禁止を進める上で最大の障害となる核保有国、特に米国とロシアに目標を定めるときです。

核兵器禁止時代(BANg)-核軍縮のためのヨーロッパ青年ネットワーク

ニナ・アイゼンハート (コーディネーター)

私たちは青年として、核兵器の脅威を世界からなくすために、すべての政府に大胆な措置を とるよう呼びかけます。私たちは、この遺産を引き継ぎたくないです。このアピールがその目 的を達成し、政府が交渉を即時に開始することを願っています。

核戦争防止国際医師会議(IPPNW)

マイケル・クライスト(執行理事長)

IPPNWを代表して、アピールに賛同します。IPPNWの加盟団体や医師、医学生やその他の支持者たちに署名してもらっていいですか。OKでしたら、署名を回します。このキャンペーンの進展についてもお知らせください。

ジョン・ロレツ (プログラム責任者)

私たちが核兵器を廃絶しなければ、核兵器が人類を滅ぼすでしょう。したがって、IPPNWは核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)を立ち上げ、廃絶条約である核兵器条約の交渉と締結を最優先課題としてきました。IPPNWは、広島と長崎で起きた大惨事が地球上のいかなる地でも繰り返されないために、共通の目標に向かって活動する原水協に心より賛同します。

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)

ティルマン・ラフ (国際作業グループ議長)

喜んで賛同します。今、オーストラリア理事会と国際中心作業グループの賛同を得られるよう働きかけているところで、追って連絡します。2011年が平和で健康な一年となりますように。

国際民主婦人連盟(WIDF)/マルシア・カンポス・ペレイラ会長

国際民主婦人連盟(WIDF)が、「核兵器全面禁止のアピール」の新署名キャンペーンに参加することを、神は喜んでおられます。WIDFのホームページ(www.fdim-widf.org)にも掲載し、だれでも賛同ができるようにします。また、世界中にいる WIDF の会員にも、賛同要請を送り、キャンペーンに署名を寄せてもらうようにします。

宇宙の兵器と原子力に反対するグローバルネットワーク

ブルース・K・ギャグノン(コーディネーター)

もちろん、私の名前を加えてください。この署名キャンペーンは、「ミサイル防衛」システムの配備も禁止する、という言葉を加えると、より強化されると思います。というのも、このシステムの配備は、各国の核兵器の大幅な削減を劇的に困難にするからです。ミサイル防衛は、米国の「正式な軍縮方針」に、急速になりつつあります。

技術者・科学者国際ネットワーク(INES)

INES は賛同します。私たちのロゴも添付しました。あなた方のホームページや印刷物で、ご自由にお使いください。